

北海道大学病院が肺移植実施施設に認定

～北海道で初、国内 12 番目の認定施設として肺移植医療の新たな展開へ～

【ポイント】

- 北海道大学病院は、2025 年 3 月 26 日付で、全国で 12 番目、北海道で初となる肺移植実施施設として正式に認定されました。
- 今回の認定により、肺移植の適応評価、待機登録、移植手術、術後フォローアップまでを一貫して当院で行うことが可能となりました。
- 北海道内にお住まいの患者さんが、道外へ移動することなく、地元で高度な肺移植医療を完結できる体制が整いました。
- 当院には、カナダ・トロント大学で数多くの肺移植を手がけた呼吸器外科・加藤達哉教授をはじめ、肺移植に豊富な経験を持つ医師・スタッフが複数在籍しています。
- 本取り組みの一部は、2023 年に実施したクラウドファンディング「北海道の地で待望の肺移植、実現へ」により、多くの皆様からのご支援を受けて実現いたしました。

【概要】

～北海道で初となる肺移植医療の拠点が誕生～

北海道大学病院は、2025 年 3 月 26 日に、肺移植関連学会協議会及び移植関係学会合同委員会より、全国で 12 番目、北海道で初の肺移植実施施設として正式に認定されました。

これまで、北海道内で肺移植を希望される患者さんは、全て本州の医療機関で評価や待機登録、実際の移植手術を受ける必要があり、長距離の移動や転居を伴う負担は、患者さん及びご家族にとって大きな障壁となっていました。

今回の認定により、北海道内で肺移植に関わる全ての医療が完結可能となり、住み慣れた地元で安心して治療を受けられる環境が整いました。

背景

北海道大学病院呼吸器外科では、従来より肺移植患者の術前・術後管理に積極的に取り組んでまいりました。特に 2022 年、呼吸器外科が独立診療科として設置され、加藤達哉教授が着任して以降、肺移植医療の本格的な体制整備が始まりました。加藤教授は、カナダ・トロント大学において多数の肺移植に携わってきた経験を有し、肺移植医療に精通したスタッフ陣とともに、高度な専門医療体制を構築しています。

この度の認定にあたり、医療スタッフの国内外での研修や施設見学、移植に必要な機器・トレーニング環境の整備においては、2023 年に実施したクラウドファンディングを通じ、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。また、地域の皆様の協力が、今回の認定の実現に大きな後押しとなりました。

成果

今回の認定により、北海道大学病院は、以下の医療を提供することが可能となります。

- 肺移植の適応評価
- 日本臓器移植ネットワークへ（JOT）の待機登録
- 肺移植手術の実施
- 術後の長期フォローアップ

すでに、肺移植が必要とされる患者さんの評価入院や待機登録に向けた準備が進行中です。多職種で構成される肺移植診療チームが結成され、診療科の垣根を超えた連携体制のもと、安全かつ高水準な医療の提供を目指します。

今後の展望

まずは、脳死肺移植から段階的に開始し、将来的には生体肺移植を含む多様な肺移植医療の提供を視野に入れています。国内で研鑽を重ねるとともに、海外施設との連携もさらに深めながら、より高度な医療体制の構築を進めてまいります。

また、道内外の医療機関とのネットワークを強化し、円滑な患者紹介・逆紹介体制を整備するとともに、地域医療従事者への教育・啓発活動にも注力していきます。

広大な北海道において、肺移植を必要とする全ての患者さんが、質の高い医療を安心して受けられる社会の実現に向け、私たちは今後も歩みを止めることなく取り組んでまいります。

【(必要な場合)用語の説明】

※1 肺移植実施施設：日本臓器移植ネットワークに登録され、肺移植の実施が認められた医療機関。北海道大学病院は、全国に12番目に肺移植実施施設として認定された。

※2 日本臓器移植ネットワーク（JOT）：脳死・心停止ドナーからの臓器提供における全国的な調整機関。

お問い合わせ先

北海道大学病院呼吸器外科 加藤 達哉（かとうたつや）

T E L 011-706-6009 F A X 011-706-5161 メール thoracicsurg@pop.med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp